すたぺんドリル 小学校高学年 「ことわざ」解答 ⑮

日付	名前
月　日	

問題 次のことわざの意味をア～シから選んで〔　〕に書きましょう。（国語辞典などを使って調べてみましょう。）

① 三つ子の魂（たましい）百まで　〔ウ〕

② 実るほど頭（こうべ）を垂れる稲穂（いなほ）かな　〔シ〕

③ 耳にたこができる　〔カ〕

④ 昔取った杵柄（きねづか）　〔イ〕

⑤ 無用の用　〔オ〕

⑥ 目から鱗（うろこ）が落ちる　〔ケ〕

⑦ 目くそ鼻くそを笑う　〔キ〕

⑧ 目の上のこぶ　〔サ〕

⑨ 目は口ほどに物を言う　〔エ〕

⑩ 餅（もち）は餅屋（もちや）　〔コ〕

⑪ 焼（や）け石に水　〔ク〕

⑫ 安物買いの銭（ぜに）失い（やすもの）　〔ア〕

意味

ア　安いものは品質がおとっているので、結局は金銭を失うに等しい結果になるということ。
イ　過去にきたえた腕前や修練した技量のこと。
ウ　幼い時の性質は、年老いても変わらないこと。
エ　情を込めた目つきは、口で話す以上に強く相手の心をとらえること。
オ　無用とされているものが、かえって有用であること。
カ　同じ話を何度も聞かせられること。
キ　自分の欠点に気づかずに他人の欠点を笑うこと。また、笑う者も笑われる者も大した違いはないこと。
ク　援助や努力がわずかで、効果が上がらないことのたとえ。
ケ　あることをきっかけとして、急に物事の真相や本質が分かるようになること。
コ　物事にはそれぞれの専門家がいるということ。
サ　自分よりも地位や実力が上で、とかく自分の活動にじゃまになることのたとえ。
シ　学識や徳が深まるにつれて、その人柄や態度が謙虚になること。